

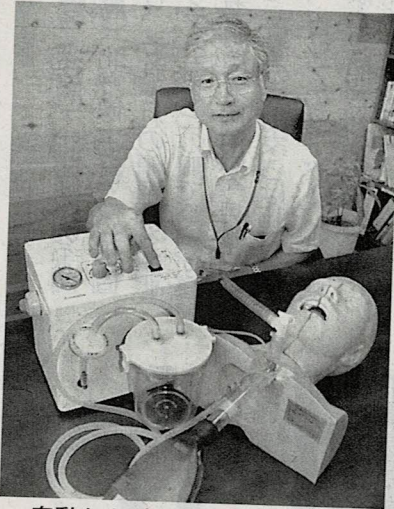
# 苦痛ないたん吸引器

難病患者や高齢者向けに気管内のたんを自動で吸引する機器を徳永装器研究所（大分県宇佐市）が開発した。自動たん吸引器は世界で初めてで、本人の苦痛はなく、介護側の負担も軽減されるのが特徴という。来年度には機種を増やして販売拡大する方針。

## 新 the 鋭

### 介護医療機器製造 徳永装器研究所

者だったが、35歳でUターン。友人の家族に難病患者がおり、介護機器を作ろうと会社を設立した。今回の開発は約11年前に医師から「たんを自動で吸引できないか」と相談されたのがきっかけ。医師のアドバイスを受けながら、試作器を作り直す作業を繰り返した。08年に薬事承認を得て、約2年前に売り出した。



自動たん吸引器（手前左）を開発した徳永修一社長

たん吸引は、チューブを気管内に挿入し断続的に勢よく吸引する方法が一般的だ。昼夜問わず1〜2時間ごとに必要で、本人はつらく、家族ら介護者の負担も大きいという。

自動たん吸引器は24時間、少しずつたんや唾液を吸引。気管粘膜に吸着せず、呼吸にも影響しないという。吸引の圧力や流量を簡単に調整でき、医師の管理下で患者の状況に合わせて使用できる。

商品名は「アモレスU1」。徳永社長が好きな言葉「愛はすべてに打ち勝つ」にちなむ。1台16万円。2年間の販売実績は360台。3年後には年間1000台を目指す。

【中園敦二】

#### 会社プロフィール

97年5月創業。徘徊（はいかい）通報器や自立支援機器など介護、福祉、医療機器の製造販売。売上高（11年6月期）は1億5700万円。従業員は18人。